

平成24年9月からポリオワクチンの定期接種が 生ワクチンから「不活化ワクチン」に変わります

日本では、2000年にポリオの根絶を報告しましたが、世界には、いまでも流行している地域があり、渡航者などを介して感染はどの国にも広がる可能性があります。

ワクチンを接種することで、ほとんどの人が免疫を持てば、海外で旅行しても、国内での流行を防ぐことができますので、対象年齢で、未接種の方は接種をおすすめします。

○不活化ポリオワクチンの接種は以下のようになります

生ポリオワクチンを一度も接種していない場合や、すでに1回目の接種をしている場合などによって、接種回数が異なりますので、ご注意ください。

■接種方法

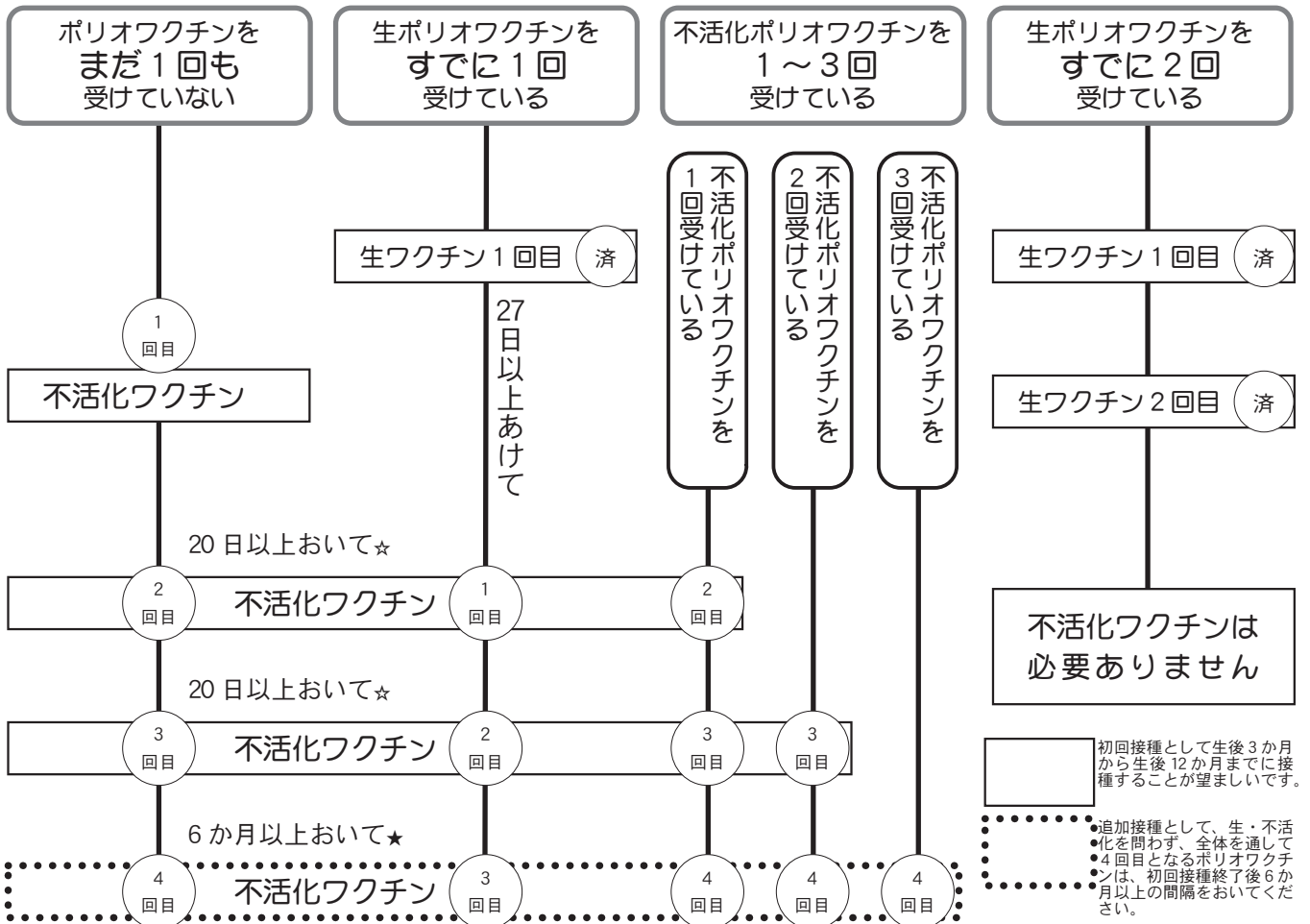
生ワクチンは経口接種（口から飲む）でしたが、不活化ワクチンは皮下接種（皮下注射）となります。

■対象年齢

現在の生ワクチンと同様で、生後3か月から生後90か月（7歳6か月）までとなります。

どうすればいいの？ポリオワクチン

単独の不活性化ポリオワクチン導入（平成24年9月1日）から、4種混合ワクチン導入までの接種ステップ



★ 20日以上おいて（20日から56日までの間隔をおくことが望ましいです。）

★ 6か月以上おいて（12か月から18か月の間隔をおくことが望ましいです。）

※平成24年9月1日の導入時点では4回目の追加接種は定期接種対象外です。

（現在国内臨床試験を実施中のためデータが整い次第導入予定）

○問い合わせ先

保健福祉課保健指導係 ☎ 52 - 2211